

出品点数700点! 史上最大の回顧展!“時代”に抗った孤高の天才芸術家、その「軌跡」と「閃光」

成田亨

TOH LINA ITA

美術 / 特撮 / 怪獣

開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日：5月11日(月)

観覧料：一般1,200(1,000)円、高大生800(600)円、
小中生200(160)円 ※()内は20名以上の団体料金

※心身に障がいがある方と付添者1名は無料

※常設展観覧料は含まれません

主催：成田亨展実行委員会

(青森県立美術館、青森朝日放送、東奥日報社、青森県観光連盟)

企画協力：スパンアートギャラリー

協力：青い森鉄道、アートボックス

後援：NHK青森放送局、エフエム青森、青森ケーブルテレビ、
岩手日報社、秋田魁新報社、青森県教育委員会

前売券販売所：ローソンチケット[Lコード21828]、

ポみっと! チケット、県内各プレイガイド

※前売券は4月10日まで発売

※前売券で入場された方には成田亨展特製ステッカーと
シークレットフライヤー(非売品)を差し上げます。

またコンビニ端末で購入された前売券は美術館受付で
オリジナルチケットに引換えも可能です。



《ウルトラマンT》1996年 青森県立美術館蔵

Art / Special
Effects / Monsters

2015

4.11[±] - 5.31^日

青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART



聖地「青森」で感じとれ！ 成田亨の芸術世界！

青森県立美術館では成田亨(1929-2002)を重要作家の一人と位置づけ、これまで常設展において怪獣デザイン原画の一部を常時公開してきました。しかし「ウルトラ」の仕事が中心だったその展示は、成田亨という芸術家の一側面を伝えるに過ぎません。

成田亨は彫刻家、画家、デザイナー、特撮美術監督とジャンルの垣根を越えた多彩な表現活動を行った作家です。旧制青森中学(現青森高等学校)在学中に画家・阿部合成と出会い、絵を描く技術よりも「本質的な感動」を大切に考える考え方を、さらに彫刻家的小坂圭二からモチーフの構造とその構成を重視する手法を学んだ後、武蔵野美術学校(現武蔵野美術大学)で絵画、彫刻を学び、新制作展を舞台に気鋭の彫刻家として脚光を浴びていきます。一方、アルバイトとして映画「ゴジラ」(1954年)の製作に参加したことをきっかけに、以降特撮美術の仕事も数多く手がけていきました。1965年から68年にかけて制作、放映された「ウルトラQ」、「ウルトラマン」、「ウルトラセブン」ではヒーロー、宇宙人、怪獣、メカニックやセット等のデザインを担当し、「成田怪獣」と称される名キャラクターを次々に生み出していきました。成田の高い芸術的感性が反映された卓越した造形センスにより、「成田怪獣」は放映から50年近く経った現在もなお愛され続けています。「ウルトラ」以降も、テレビ番組では「マイティジャック」や「突撃ヒューマン」、「円盤戦争パンキッド」など、映画では「新幹線大爆破」や「戦争と人間」、「この子を残して」、「麻雀放浪記」などの特撮を手がける一方で、個展を中心に油彩画や彫刻の作品発表も続けていきます。また古今東西のモンスターへの関心と知識を深めた成田は、1990年に巨大彫刻「鬼モニュメント」(京都府福知山市)を制作しますが、本作は彫刻家としての成田の集大成的作品と言えます。

今回の回顧展では、こうした多岐にわたる成田の仕事の全貌を紹介いたします。青森県立美術館所蔵のウルトラ関係デザイン原画187点をはじめとする特撮関連の作品、未公開の怪獣デザイン原画、初期および1970年代以降の絵画・彫刻など総点数700点により、非凡なる才能を秘めていた芸術家の知られざる全貌に迫ります。



《翼をもった人間の化石》
1971年 個人蔵



《Uジン》(全身)
1970-80年代前半



《ヒューマン》
1972年頃 個人蔵



《ティバズ大尉》
1976年 個人蔵



《真実と正義と美の化身》
1983年 個人蔵



《四神獣》
1988年



《鞍馬の魔王大僧正》
1987年頃 個人蔵



《鬼モニュメント》茨木童子
1990年



《ビグモン》(部分)
1991年 個人蔵

記念講演会

- ① 成田流里氏(成田亨夫人)
成田カイリ氏(成田亨ご子息・俳優)

日時：4月12日(日) 14:00~16:00

長年に渡り成田亨と音楽をともにした夫人の流里氏と、ご子息であるカイリ氏をお迎えし、成田亨の人と芸術について、家族ならではのエピソードを交えながらお話しいただきます。

- ② 村上隆氏(アーティスト)

日時：4月25日(土) 14:00~15:30

世界を舞台に活躍中のアーティスト・村上隆氏は、最も影響を受けた芸術家の一人として成田亨を挙げ、かねてから成田作品の高い芸術性に注目してきました。今回はアーティストとしての視点から成田芸術の神髄について話していただきます。

- ③ 榎木野衣氏(美術批評家、多摩美術大学教授)

日時：5月9日(土) 14:00~15:30

現代美術についての論考を多数発表している榎木氏は、1990年代よりいち早く成田亨の美術家としての才能に注目してきました。美術批評家の視点から、成田芸術の特質を明らかにします。

- ①②③ともに

会場：青森県立美術館シアター

聴講料：無料(ただし成田展チケットが必要です)

関連映画上映会

「麻雀放浪記」

(1984年/東映/109分)

日時：5月5日(火・祝) 13:30~15:19

監督：和田誠

出演：真田広之、大竹しのぶ、加賀まりこ等
会場：青森県立美術館シアター
聴講料：無料(ただし成田展チケットが必要です)

展覧会担当学芸員トークショー

日時：4月11日(土) 13:30~15:00

講師：三木敬介(富山県立近代美術館学芸員)、

山口洋三(福岡市美術館学芸員)、

工藤健志(青森県立美術館学芸員)

成田展開催館の3名の担当学芸員による裏ネタ満載(?)のトークです。

会場：青森県立美術館ワークショップA

聴講料：無料

ワークショップ「美術館模型をつくらう」

日時：4月26日(日) 13:30~17:00

講師：村山徹(建築家)

美術館の建築模型を作り、怪獣とからめて遊ぶ！

会場：青森県立美術館ワークショップB

参加料：無料

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：5月6日(水・祝)、5月24日(日)、

5月31日(日) 14:00~15:00

講師：工藤健志(青森県立美術館学芸員)

会場：青森県立美術館展示室

聴講料：無料(ただし成田展チケットが必要です)

親子ギャラリートーク

日時：5月2日(土)~6日(水・祝) 各14:00~14:30

会場：青森県立美術館展示室

参加料：無料(ただし成田展チケットが必要です)

※参加者プレゼントあり

同時開催：春の常設展

1. 成田亨展開連展示：阿部合成、小坂圭二、高山良策等
 2. ジャンルを越境する表現者たち：建部寒葉齋、今和次郎、寺山修司、馬場のぼる、タイガー立石、伊藤隆介等
 3. その他：棟方志功、奈良美智等
- ※常設展は別途観覧料が必要になります。

※最新情報、イベントの詳細等についてはホームページ

www.aomori-museum.jp およびフェイスブック <https://www.facebook.com/aomori.museum>

ツイッター <https://twitter.com/aomorikenbi> でご確認ください。

成田亨展実行委員会(青森県立美術館内)

〒038-0021 青森県青森市安田字近野185

Tel 017-783-3000

Fax 017-783-5244

